

経営比較分析表（平成30年度決算）

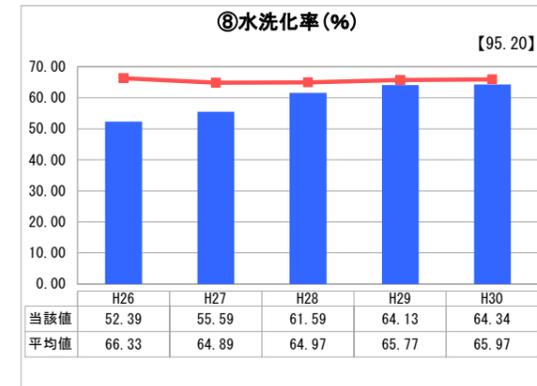
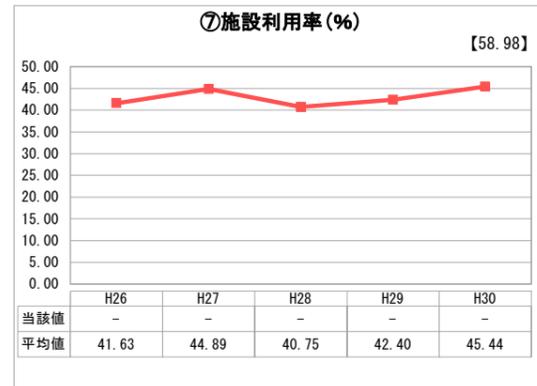
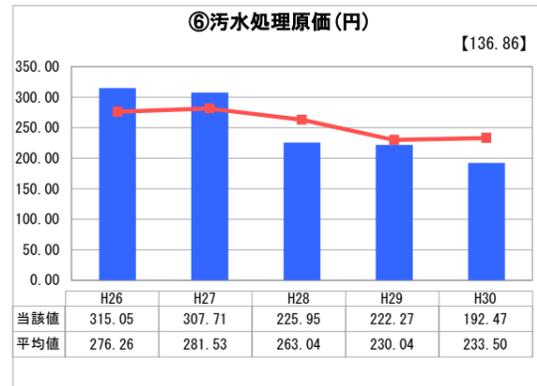
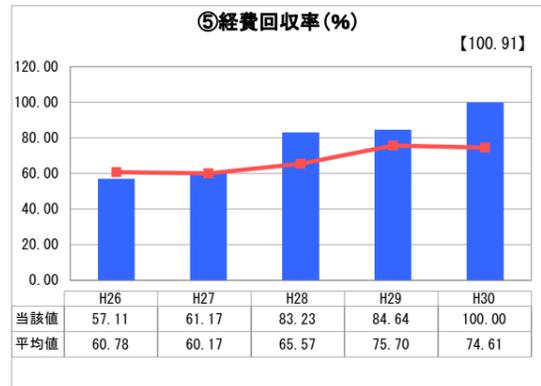
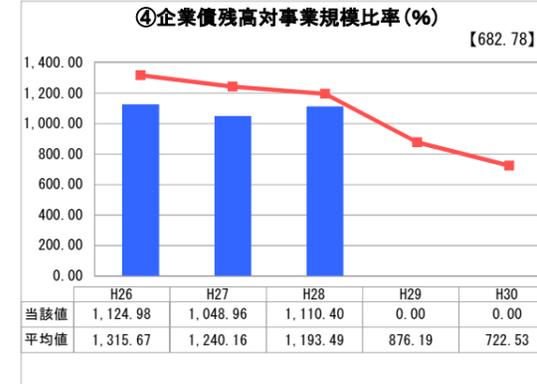
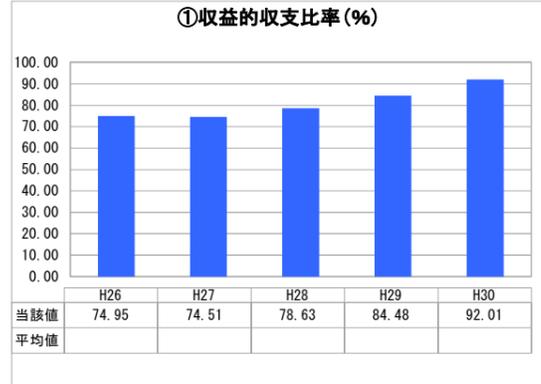
福岡県 広川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	40.48	86.74	3,845

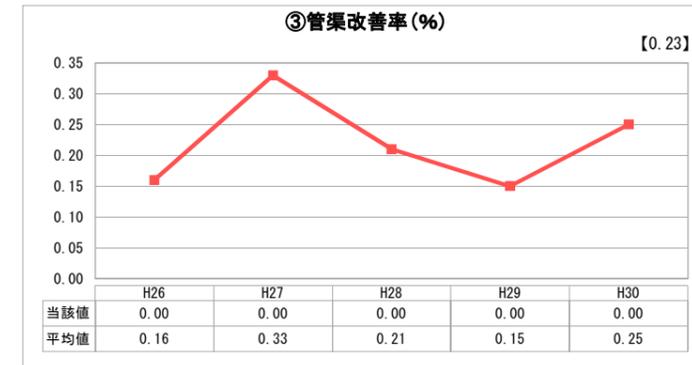
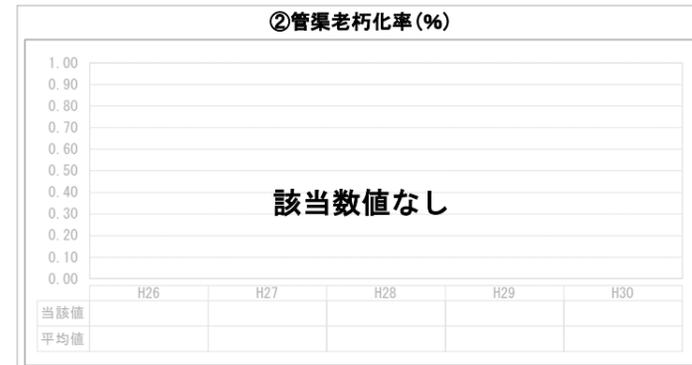
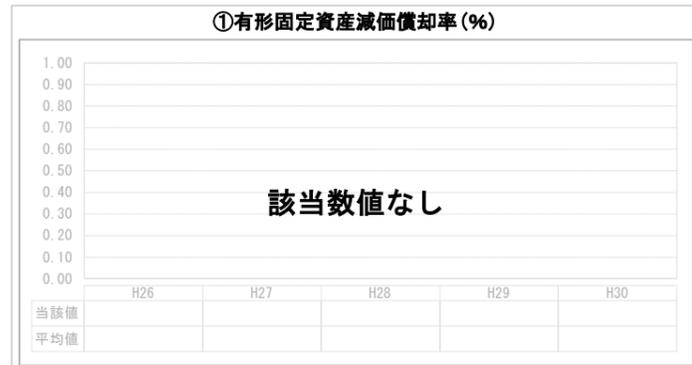
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,670	37.94	518.45
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,954	2.81	2,830.60

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当町の下水道事業については、矢部川流域公共下水道に参加しており、関連町公共下水道は現在区域を拡大中です。
 供用開始区域の拡大に伴い、料金収入も増加していますが、あわせて維持管理費、処理負担金、起債償還などの経費も増加しています。そのため、国庫補助金、料金収入等の特定財源で不足する部分を一般会計からの繰入金で賄っており、依存度が高い状況にあります。
 指標につきましては、年々収支に改善がみられますが、今後も経営改善に取り組む必要があります。

2. 老朽化の状況について

当町の下水道事業につきましては、平成22年3月に供用開始し、現在も区域を拡大しております。そのため、耐用年数を迎えるまでは相当の期間があります。その間に、将来に向けてストックマネジメント計画を策定し、随時点検および管理をしていく必要があると考えております。

全体総括

長期的な事業運営を安定化させるためには、現在拡大している事業計画の効率性・経済性を定期的に再検証し、住環境ニーズの変化に合わせた対応が必要になると考えます。また、既供用開始区域、拡大区域内の更なる加入促進を行います。
 また平成31年度より公営企業会計を適用することで、経営状況の分析及び改善を図り、安定した経営に向けて取り組んでいきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。